

【公開用】

令和7年度

(令和7年4月～令和8年5月)

自己点検評価書

比治山大学短期大学部



HIJIYAMA

目 次

令和 7 年度自己点検評価書（総括）	1
--------------------------	---

基礎資料（令和 8 年 5 月）

資料 1 共通基礎データ 1	4
資料 3 学科・専攻別在籍者数（過去 5 年間）	5
資料 4 専攻科・専攻別在籍者数（過去 3 年間）	7
資料 6 就職の状況（過去 3 年間）	8
表 4-2 修得単位状況（前年度実績）	9
資料 9 専任教員の学科・専攻科ごとの年齢別の構成	10

令和7年度自己点検評価書（総括）

第4期認証評価基準に基づき、(1)認証評価機関が指定する資料が整備されているか、(2)「評価の視点」及び「評価の視点に関わる自己判定の留意点」を踏まえ基準を満たし説明できる資料があるか、(3)成果や特色ある取り組みをおこなっているかどうかについて自己点検評価を行った。また、令和3年度認証評価に係る指摘事項等への令和7年度対応の進捗状況についても自己点検を行った。令和7年度自己点検評価書について総括する。

●第4期認証評価基準の「評価の視点」及び「評価の視点に関わる自己判定の留意点」への自己評価

〈課題〉

- 1 指定された111の資料は概ね整備されていたが、4つの資料が整備されていなかった。
- 2 基準を満たしていることを説明をする資料は全て整備されていたが、基準を満たしていない評価が1項目あった。
- 3 成果・特色については、15件の記載があった。

〈対応〉

指定された資料のうち整備のできていない4つの資料については、令和8年度に各部署と整備を進める。基準を満たしていない1項目については、令和8年度の改善状況を確認する。基準を満たしていることを説明する資料については、すべて視点や留意点に沿った資料であるか確認する。認証評価検討部会において検証し、令和8年度の自己点検評価書に反映させ認証評価に対応する。

1 指定された資料のうち整備が必要な資料

基準	資料名
2-3-②	学外関係者の意見・要望のくみ上げを計画・実施する会議体の規則
5-4-①	研究環境に関する調査の結果
5-4-①	研究環境整備の方針・計画
6-2-①	法人の意思決定に関する組織図

2 基準を満たしていない自己点検評価の項目

基準	項目
6-4-②	6-4. 財務基盤と収支の収支バランスの確保（収入と支出のバランスが保たれているか。）

3 成果・特色

基準		取組
2-3-①	B.学生の意見・要望の分析結果を教育研究や大学運営の改善・向上に反映しているか	学長オフィスアワーでの提案を契機としたストリートピアノの設置（HP「お知らせ」2024.8.20）
3-1-①	A.アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。	総合型選抜、学校推薦型選抜へのエントリー、出願時に求めている「エントリーシート」、「志望理由書」において、アドミッション・ポリシーを踏まえた記入をするよう勧めている。
3-1-②	A.アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜制度を整備しているか。	志願者に本学のアドミッション・ポリシーを理解し受験してもらうため、建学の精神から導き出した「汎用的な能力（4×3の比治山力）」について質問している。また、入学後の各種アンケート等でも追跡調査を実施している。

3-1-②	B.入学者選抜などを、適切な体制のもとで公正かつ妥当な方法により実施し、その検証を行っているか。	「入学者選抜要項」と各選抜実施時に作成している実施要領に沿って、入学試験問題委員会、入試委員会、判定委員会等が対応し、各選抜終了後、入試委員会等で入試内容や運営体制などを随時検証、改善している。
3-1-③	A.入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。	入試広報課を中心に、入学定員や充足率について、整理・分析し、入試委員会、広報委員会、教授会、FD等で情報共有を行っている。また、問題点、改善点を協議して選抜方法の見直しを行っている。
3-2-②	A.学修支援のために、TA やSA(Student Assistant)などを適切に活用しているか。	(現代文化学部) 4×3の比治山力の育成について関連を省察している
3-2-②	C.障がいのある学生への合理的な配慮を行っているか。	支援強化のため、修学支援コーディネーターを配置しており、今年度はより利用しやすいよう専用を整備した。
3-2-②	D.中途退学、休学及び留年などへの対応策を講じているか。	1・2年次生への全員面談
3-3-①	A.キャリア教育を教育課程に取り入れ、適切に実施しているか。	重点事業 各学科による「学生の自己実現のためのキャリア支援」事業
3-3-②	A.卒業後の進路に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。	・学内イベント（ボスマーケティング・しまねっこmeetなど）の実施 ・中小企業家同友会との連携による「企業研究会」 ・「全員面談」について ・「なんでも相談会」について
3-4-①	B.学生の心身に関する健康相談、心の支援、生活相談、学生の課外活動への支援をはじめとする学生サービスを、学生の多様性に配慮して適切に行っているか。	支援強化のため、修学支援コーディネーターを配置しており、今年度はより利用しやすいよう専用を整備した。また、留学意識促進の為に準備した奨学金制度により、1名が韓国に留学した。
3-5-②	A.図書館を十分に利用できる環境を整備し、教育研究に資する十分な学術情報資料を提供しているか。	・三島由紀夫生誕百年記念事業 ・学認参加
6-3-①	B.教職員の提案などをくみ上げる仕組みを整備しているか。	・第3回幹部連絡調整会議においてクラブ活動活性化の提案があり、中高大クラブ活動プロジェクトを発足した。 ・中高大クラブ活動プロジェクトにて調査・検討の結果、中高共学化に合わせ、令和8年度よりeスポーツ部を発足することが決定した。 ・第6回幹部連絡調整会議において人材育成基本方針部会の報告があり、部門や年代を超えた交流を促進し、一人ひとりが働きやすい職場環境実現のために、部門横断プロジェクトを発足した。 ・第7回幹部連絡調整会議において「比治山学園学びの接続の推進に係るWG」の設置について提案があり、「内部進学制度WG」「中高大一貫教育制度WG」を発足した。 ・学長オフィスアワーの教員提案により、教員提案の子ども家庭ソーシャルワーカー指定研修を実施し、収益をだした。
6-4-②	B. 外部資金の導入の努力を行っているか。	・子ども家庭ソーシャルワーカー認定研修事業（公開講座・講習会収入） ・不動産プロジェクトマッピング事業（寄付金収入） ・「三島由紀夫生誕百年」記念事業（寄付金収入） ・広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業（助成金収入） ・エネルギー文化・スポーツ財団事業（助成金収入） 等
6-4-③	A.中期的な計画及びその裏付けとなる財務計画に基づく財務運営を行っているか。	・学納金以外の収入増加策として寄付金事業の取り組みおよび各種助成金獲得の取り組みを強化し、成果を上げている。 寄付金事業 355万円 助成金獲得 123万円

●令和3年度認証評価に係る指摘事項等への令和7年度対応の進捗状況

〈課題〉

9つの計画のうち、遅れている計画は「5-4財務基盤と収支（大学）（短大）」の2件だった。なお、その他については、予定通りすすめている計画6件，完了した計画1件だった。

〈対応〉

遅れている計画については、財政健全化計画に基づく対策を実行する。

共通基礎データ1(令和8年5月1日現在)

資料 1

事 項		記 入 欄										備 考												
短 期 大 学 の 名 称		比治山大学短期大学部																						
学 校 本 部 の 所 在 地		広島東区牛田新町4丁目1番1号																						
教員組織	短期大学士課程	学科・専攻課程の名称	専 任 教 員 等															非常勤 教員	専任教員一人あたりの 在籍学生数	備 考				
			教授	准教授	講師	助教	計	専任 教員					基準数	うち教 授数	うち実務 家専任 教員数						助手			
									うち教 授数	うち実務 家専任 教員数	うち2 項該当 数	うちみなし 専任教員 数				うち2項該 当数	うちみなし 専任教員 数							
			幼児教育科	4人	2人	4人	0人	10人	—	—	—	—	—	6人	2人	—	—				—	0人	9人	10.9人
			総合生活デザイン学科	3人	0人	2人	0人	5人	—	—	—	—	—	4人	2人	—	—				—	0人	8人	16.8人
			美術科	3人	2人	2人	0人	7人	—	—	—	—	—	7人	3人	—	—				—	1人	18人	19.7人
			(共通教育科目)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				—	—	28人	—
			(短期大学全体の入学定員に応じた教員数)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4人	2人	—	—				—	—	—	—
	計	10人	4人	8人	0人	22人	0人	0人	0人	0人	0人	21人	9人	0人	0人	0人	1人	63人	—					
専攻科	専攻の名称	専 任 教 員 等										非常勤教員		専任教員一人あたりの在籍学生数		備 考								
		教授	准教授	講師	助教	計	助手																	
		美術専攻	3人	2人	2人	0人	7人	0人	2人		人		学科の専任教員が専攻科の教員を兼ねている。											
計	3人	2人	2人	0人	7人	0人	2人		0人															

[注]

- 1 学科・専攻課程、専攻科、別科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教員組織の欄には、教育研究組織の欄に記載した組織単位で専任教員等及び非常勤教員の数を記入してください。また、上記3に記載した、学科教育を担当する独立の組織がある場合には、組織名は、「学科・専攻課程の名称」の欄に「その他の組織等（〇〇）」と記載し、専任教員等及び非常勤教員の数を記載してください。なお、その場合は、「基準数（及び「教授数」）」及び「専任教員一人あたりの在籍学生数」の欄は「—」としてください。
- 3 専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に短期大学を離れている場合も専任教員に算入してください。ただし、短期大学設置基準第21条における「授業を担当しない教員」は含めないでください。
- 4 「非常勤教員」の欄には、客員教員や特任教員等で専任の教員は含みません。
- 5 他の学科・専攻課程等に所属する専任の教員であって、当該学科・専攻課程等の授業科目を担当する教員（兼担）は、「非常勤教員」の欄には含めないでください。また、「専任教員等」の各欄にも含めないでください。
- 6 専任教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。

・短期大学設置基準第22条別表第一イ及びロ（備考に規定する事項を含む。）

・短期大学通信教育設置基準第9条別表第一（備考に規定する事項を含む。）
- 7 「専任教員1人あたりの在籍学生数」の欄には、様式2の在籍学生数／本表の専任教員数計により、算出してください。
- 8 教員組織の欄に記載する際、「専門職学科」以外の学科・専攻課程においては、「うち実務家教員数」「うち2項該当数」「うちみなし専任教員数」の欄は「—」としてください。
- 9 教員組織の「〇〇専門職学科」は、設置されている場合のみ記載してください。
- 10 教員組織の項目中の、「うち実務家専任教員数」の欄については、短期大学設置基準第35条の11第1項に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）数を記入してください。

「うち2項該当数」の欄については、短期大学設置基準第35条の11第2項に該当する専任教員数を記入してください。

「うちみなし専任教員数」の欄については、短期大学設置基準第35条の11第3項に定める、1年につき6単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の数を記入してください。

資料 3

学科、専攻別在籍者数（過去5年間）

学科	専攻	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数／人)	社会人 入学 学生数 (内数／人)	帰国 生徒数 (内数／人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数／人)	社会人 入学 学生数 (内数／人)	帰国 生徒数 (内数／人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数／人)	社会人 入学 学生数 (内数／人)	帰国 生徒数 (内数／人)
幼児教育 科	—	188	0	0	0	172	0	1	0	126	1	1	0
総合生活 デザイン 学科	—	137	0	0	0	110	0	0	0	85	0	0	0
美術科	—	156	0	1	0	153	0	1	0	125	0	1	0

【学科合計】

幼児教育科合計	188	0	0	0	172	0	1	0	126	1	1	0
総合生活デザイン 学科合計	137	0	0	0	110	0	0	0	85	0	0	0
美術科合計	156	0	1	0	153	0	1	0	125	0	1	0
総合計	481	0	1	0	435	0	2	0	336	1	2	0

* 次ページあり

学科	専攻	令和7年度				令和8年度				備考
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数／人)	社会人 入学 学生数 (内数／人)	帰国 生徒数 (内数／人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数／人)	社会人 入学 学生数 (内数／人)	帰国 生徒数 (内数／人)	
幼児教育 科	—	116	1	0	0	109	0	0	0	
総合生活 デザイン 学科	—	88	0	0	0	84	0	0	0	
美術科	—	132	0	2	0	138	0	0	0	

【学科合計】

幼児教育科合計	116	1	0	0	109	0	0	0	
総合生活デザイン 学科合計	88	0	0	0	84	0	0	0	
美術科合計	132	0	2	0	138	0	1	0	
総合計	336	1	2	0	331	0	1	0	

- ① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。
- ② 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。科目等履修生等は含めないこと。

資料 4

専攻科、専攻別在籍者数（過去3年間）

専攻科課程

専攻科	専攻	令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)
専攻科	美術専攻	10	0	—	13	0	—	18	0	—
専攻科合計		10	0	—	13	0	—	18	0	—

- ① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。
- ② 社会人は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。科目等履修生等は含めないこと。

資料 6

就職の状況（過去3年間）

【学科】

学科	専攻	令和5年度					令和6年度					令和7年度				
		卒業者数 （人）	就職 希望者数	就職者 数	就職率 （％）	求人社数	卒業者数 （人）	就職 希望者数	就職者 数	就職率 （％）	求人社数	卒業者数 （人）	就職 希望者数	就職者 数	就職率 （％）	求人社数
幼児教育科	－	88	82	82	100.0%	2,193	69	60	59	98.3%	2,633	47	41	40	97.6%	2,640
総合生活 デザイン 学科	－	60	50	49	98.0%		44	38	37	97.4%		35	29	29	100.0%	
美術科	－	79	35	34	97.1%		59	17	16	94.1%		54	21	19	90.5%	
合 計		227	167	165	98.8%		172	115	112	97.4%		136	91	88	96.7%	

- ① 就職率は就職希望者に対し、実際に就職した就職者の割合を記載すること。
- ② 学科、専攻について記載すること（専攻科、通信教育ともに記載不要）。
ただし、通信教育課程のみの短期大学の場合は、この表に準じて記載すること。

表4-2
修得単位状況（前年度実績）

【1年次】

学科	専 攻	令和8年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
幼児教育科	—	56	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	54	96.4%
総合生活 デザイン学科	—	48	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.4%	39	81.3%	4	8.3%
美術科	—	66	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	4	6.1%	50	75.8%	10	15.2%
合計		170	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	9	5.3%	90	52.9%	68	40.0%

【2年次】

学科	専 攻	令和8年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
幼児教育科	—	51	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	2	3.9%	7	13.7%	40	78.4%	1	2.0%
総合生活 デザイン学科	—	35	0	0.0%	0	0.0%	7	20.0%	24	68.6%	3	8.6%	1	2.9%	0	0.0%
美術科	—	58	0	0.0%	0	0.0%	10	17.2%	34	58.6%	3	5.2%	10	17.2%	1	1.7%
合計		144	0	0.0%	1	0.7%	17	11.8%	60	41.7%	13	9.0%	51	35.4%	2	1.4%

- ① 卒業年次学生については、実際の卒業（離籍）日時点における数値とする。
- ② 在籍者数には休学者及び留年者を含み、その内訳を欄外に記載すること。ただし、当該年度中の退学者は含めないこと。
- ③ 教職などの卒業要件に関係しない単位についてもカウントすること。
- ④ 改組等により学科・専攻の名称等を変更した場合は、新旧の学科・専攻名をすべて記載し、その旨を欄外に記載すること
- ⑤ 累計ではなく、単年度の修得単位数を記載すること。
- ⑥ 学科のみについて記載すること（専攻科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの短期大学の場合は、この表に準じて記載すること。

資料 9

専任教員の学科・専攻科ごとの年齢別の構成

令和8年5月1日現在

【学科】

学科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
幼児教育科	教授 (人)	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	4
	(%)	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	講師 (人)	0	0	0		1	1	0	2	0	0	4
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0%
	助教 (人)											0
	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計 (人)		0	0	1	4	2	1	0	2	0	0	10
計 (%)		0.0	0.0	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100.0%

学科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
総合生活デザイン学科	教授 (人)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	(%)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	助教 (人)											0
	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計 (人)		2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	5
計 (%)		40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%

学科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
美術科	教授 (人)	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	(%)	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	助教 (人)											0
	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計 (人)		0	1	1	1	1	0	3	0	0	0	7
計 (%)		0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	100.0%

専攻科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
美術専攻	教授 (人)	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	(%)	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	助教 (人)											0
	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	(人)	0	1	1	1	1	0	3	0	0	0	7
計	(%)	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	100.0%

注1 専攻科美術専攻は学科の専任教員が兼担している。

【全学科・全専攻科】

学科・専攻科	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
全学科・ 全専攻科	教授 (人)	2	1	3	3	1	0	0	0	0	0	10
	(%)	20.0	10.0	30.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	准教授 (人)	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
	(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	講師 (人)	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	8
	(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0%
	助教 (人)											0
	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	(人)	2	1	3	5	5	1	5	0	0	0	22
計	(%)	9.1	4.5	13.6	22.7	22.7	4.5	22.7	0.0	0.0	0.0	100.0%

定年	70歳
----	-----

① 専任教員について、学科・専攻科ごとに作成すること。ただし、教養教育担当者が学科に所属しているものの教養教育は全学で行っている場合は、その教員数を学科から除き、【教養教育担当者】の表を作成すること。

② 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記載すること。

令和7年度 自己点検評価書

発 行 日	令和8年8月
編集・発行	比治山大学短期大学部 広島市東区牛田新町四丁目1-1 電 話：082-229-0121 FAX：082-229-5100